

フィリピン YWCA

台風「ヨランダ」(国際名「ハイヤン」) 被災者支援活動報告

プロジェクト名:

YWCA による台風「ヨランダ」救援活動報告

受益者:

- ・ イロイロ市避難所の 100 世帯
- ・ 社会福祉開発省の「Salubong Villamor」プロジェクトによりタクロバンからマニラに移送されてきた被災者 2,000 人
- ・ ロハス市のバランガイ・タンクおよびバランガイ・モンポン・ドゥルナンの 50 世帯
- ・ ロハス市内において、台風により住居を完全に破壊された YWCA の若い女性会員の家族 21 世帯
- ・ ロハス市内において洪水のため住居に部分的被害を受けた YWCA 会員 36 名

活動内容:

- A) 社会福祉開発省の「Salubong Villamor」プロジェクトによりレイテ・タクロバンから避難してきた被災者 100 名に、女性用衛生用品セットを配布
- B) 台風「ヨランダ」により最も大きな被害を受けたロハス市の 3 バランガイにおいて、被災経験を語り、通じたストレス緩和プログラム、ならびにフォーカス・グループ・ディスカッションを開催
- C) 地域 YWCA のない地域には Operation Blessings を通じて支援物資を寄付
- D) YWCA ユース会員と家族への 2 週間分の食料提供
- E) ロハス市の YWCA メンバー 15 名に対し、自宅の再建資材の一部提供
- F) 被災した成人 YWCA 会員への物資支援

資金源:

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. フィリピン国内の地域 YWCA から | 10,000 フィリピン・ペソ |
| 2. 日本 YWCA、スイス YWCA/YMCA からの募金 | 4,500 米ドル |
| 他、フィリピン YWCA 会員からの物品支援 | |

写真報告

2013年11月8日、台風「ヨランダ」(国際名ハイヤン)がビサヤ地域に多大な被害をもたらしました。
11月9日、被害の様子を調査。



フィリピンYWCA運営委員コラ・ティアンゴは、家を破壊された人々の避難所として自宅を開放しました。



台風の被害を受けたYWCA会員の自宅の様子



2013年11月17-18日

フィリピンYWCA運営委員の敷地内で救援物資をまとめるロハス市YWCAおよびNYCC（ユース委員会）会員



11月19日 バランガイ・タンクおよびモンポンにて救援物資の配布



11月26日、フィリピンYWCAスタッフのエルザ・セヴェリノ、ロハス市YWCA会長ジュディス・ディル、フィリピンYWCA運営委員コラ・ティアンゴ、元NYCCのズィザ・ディル・アセルヴォ、被災した家屋を訪問



11月27日 支援物資の準備



ロハス市YWCAによる活動：

1. モンポン小学校にて、小学生100名に学用品の配布
2. ロハス市内の拠点2箇所にて、食料品30パックを配布

SALUBONG SA VILLAMORプログラム

毎日200人もの被災者が、C-130（1日10便）に乗り、フィリピン空軍のヴィラモール空軍基地を通じてマニラ首都圏に到着しました。そのほとんどは台風ハイヤンが襲ったレイテ、サマールその他の地域から避難してきた人たちです。支援活動は、食料の提供、マニラ首都圏に親戚のいる被災者への交通の支援、医療、衣服の提供、心のケアサービスなどを含みます。YWCAは、女性用衛生キットの配布を通じて支援の呼びかけに応えました。



写真提供：コラ・ティアンゴ（フィリピンYWCA運営委員）、ズィザ・デル・アセルヴォ（ロハス市YWCA会員）
報告書作成：ネリザ・B・レナ（フィリピンYWCA総幹事）
提出：アティ・JBロゼル・G・ガヨナ（フィリピンYWCAプログラム／メンバーシップ担当副会長）